

取扱いの趣旨

T S A bは、免疫グロブリンであり変動は緩徐であるため、連月の算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《令和6年7月31日》

257 T S A bの連月の算定について

○ 取扱い

D014「40」T S A bの連月の算定は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

甲状腺刺激抗体（T S A b）は、T S H受容体に結合する抗体でT S Hの結合を阻害するが、一方で抗体自体が受容体刺激作用（T S H様作用）を有しているため、甲状腺ホルモン（T 4，T 3）の分泌を亢進させ、甲状腺機能亢進状態を生じさせる。

甲状腺機能の状態は、血中の甲状腺ホルモン等（F T 3，F T 4，T S H）を測定することにより、迅速な把握が可能であり、薬物治療開始時等の不安定期には連月、場合によっては同一月内に複数回の検査が必要となる。

一方、T S A bは免疫グロブリンであることより、その変動は緩徐であり、連月で測定することの有用性は低い。

以上のことから、D014「40」T S A bの連月の算定は、原則として認められないと判断した。

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	京都、山形、愛知、宮城、愛媛、岐阜、福島、三重、静岡、山梨、岡山	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	京都、静岡、山形、三重、愛知、宮城、岐阜、福島	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	愛知、京都、愛媛、宮城、山梨、山形、岐阜、福島、岡山、三重	〃

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・摘要欄のコメントより、内服薬の減量の可否を検討するために、患者の病態を経時的にモニターする必要があることから、妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

2024年11月～2025年7月審査分

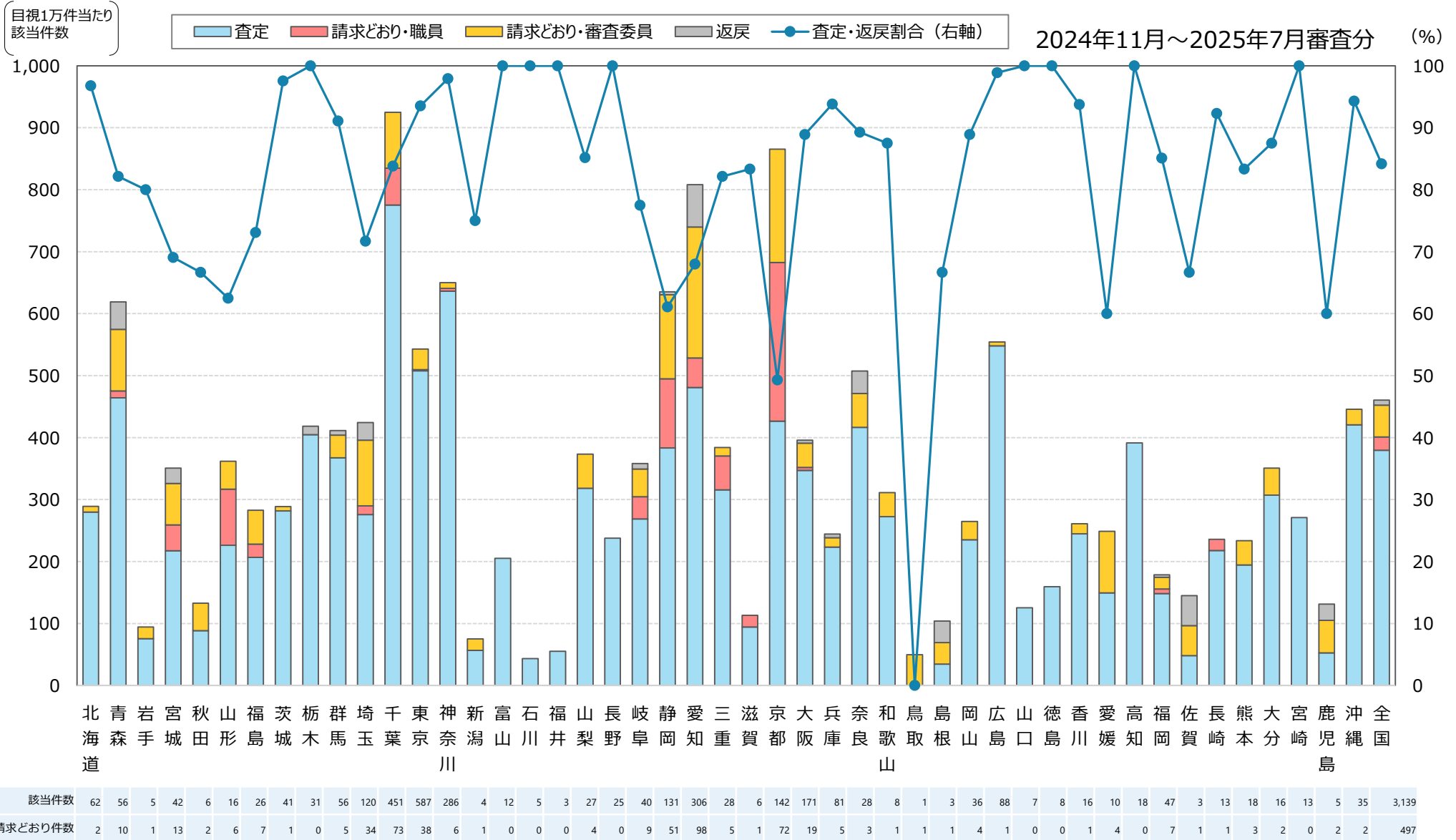
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数3,139件のうち、**取扱いと異なる審査は263件（8.38%）**
検証対象21都道府県のうち、**フォローアップ対象は11都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
01 北海道	62										
02 青森	56	51	91.07%	42	4	46	5	5	8.93%	0	5
03 岩手	5										
04 宮城	42	29	69.05%	26	3	29	0	13	30.95%	5	8
05 秋田	6	6	100.00%	4	0	4	2	0	0.00%	0	0
06 山形	16	10	62.50%	10	0	10	0	6	37.50%	4	2
07 福島	26	21	80.77%	19	0	19	2	5	19.23%	2	3
08 茨城	41										
09 栃木	31										
10 群馬	56										
11 埼玉	120	117	97.50%	78	8	86	31	3	2.50%	1	2
12 千葉	451	448	99.33%	378	0	378	70	3	0.67%	3	0
13 東京	587										
14 神奈川	286										
15 新潟	4										
16 富山	12										
17 石川	5										
18 福井	3										
19 山梨	27	23	85.19%	23	0	23	0	4	14.81%	0	4
20 長野	25										
21 岐阜	40	31	77.50%	30	1	31	0	9	22.50%	4	5
22 静岡	131	108	82.44%	79	1	80	28	23	17.56%	23	0
23 愛知	306	208	67.97%	182	26	208	0	98	32.03%	18	80
24 三重	28	23	82.14%	23	0	23	0	5	17.86%	4	1

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
25 滋賀	6										
26 京都	142	70	49.30%	70	0	70	0	72	50.70%	42	30
27 大阪	171	165	96.49%	150	2	152	13	6	3.51%	2	4
28 兵庫	81										
29 奈良	28	26	92.86%	23	2	25	1	2	7.14%	0	2
30 和歌山	8										
31 鳥取	1	1	100.00%	0	0	0	1	0	0.00%	0	0
32 島根	3	3	100.00%	1	1	2	1	0	0.00%	0	0
33 岡山	36	32	88.89%	32	0	32	0	4	11.11%	0	4
34 広島	88										
35 山口	7										
36 徳島	8										
37 香川	16										
38 愛媛	10	7	70.00%	6	0	6	1	3	30.00%	0	3
39 高知	18										
40 福岡	47										
41 佐賀	3										
42 長崎	13										
43 熊本	18	16	88.89%	15	0	15	1	2	11.11%	0	2
44 大分	16	16	100.00%	14	0	14	2	0	0.00%	0	0
45 宮崎	13										
46 鹿児島	5										
47 沖縄	35										
全国	3,139							263	8.38%	108	155

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数